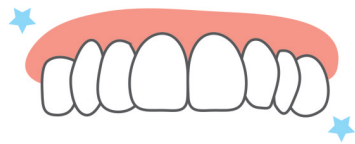


## セラミック素材の差し歯は、見た目がキレイ…だけではありません。



歯垢や歯石が付きにくいため衛生的

全てセラミック素材の場合、金属アレルギーの心配がない

ほとんど変色しない

熟練した歯科技工士が手間と時間をかけて作るため、精密でキレイ

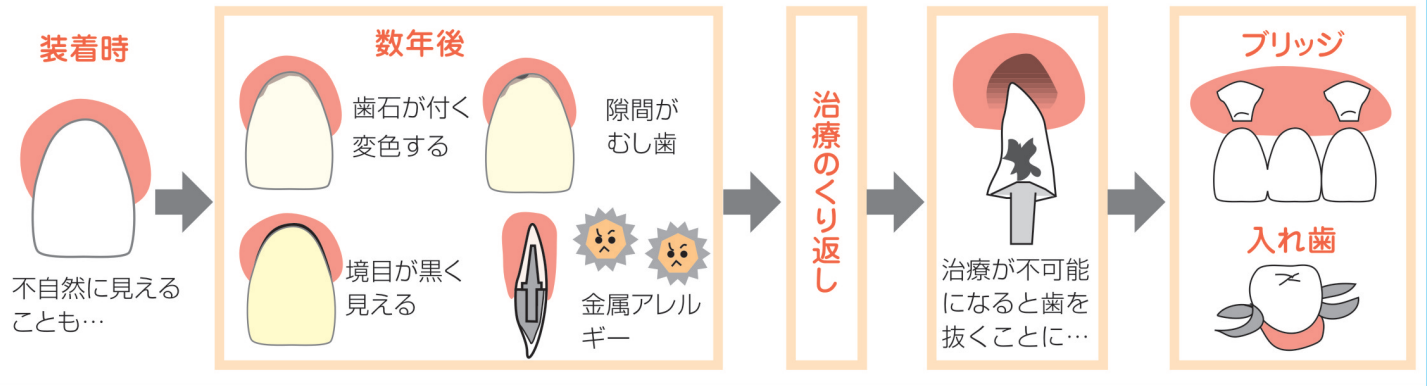
内面にジルコニアや貴金属を使用することで耐久性がアップ

※セラミック素材は保険適用外です。

見た目が重要視される前歯の被せ物。セラミック素材は透明感のある天然の歯に近い差し歯を作ることができるため、前歯の被せ物に適しています。さらに、見た目以外に次のような特徴もあります。

### 保険適用の差し歯の場合

保険適用の差し歯でも日常生活に支障はありません。しかし、表面がプラスチックで内面が金属のため不自然に見えることがあり、年月の経過とともに変色や金属部分が劣化します。



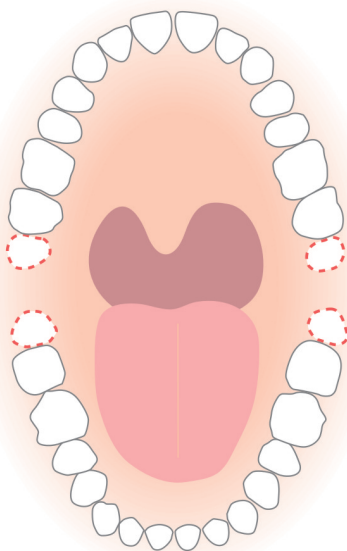
保険の差し歯もセラミックの差し歯も、歯科医院での定期的なお手入れとチェックが長持ちさせるポイントです。

## 親知らず

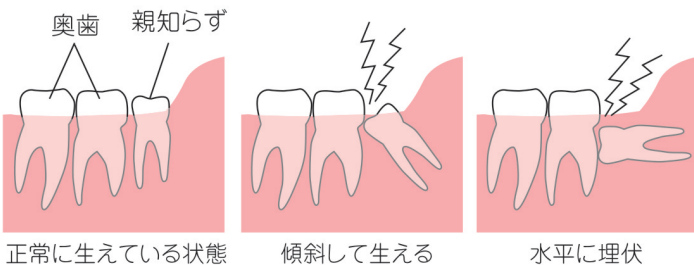
生え方に問題がある場合、何度も痛みや腫れを繰り返したり、歯磨きが十分にできずむし歯や歯周病になりやすいなどトラブルの原因になるため、抜いた方がよい場合があります。

### 親知らずを抜いたほうがよいケース

- 歯ぐきに炎症が起こっている
- むし歯になっている
- 歯の一部しか見えておらず、食べかすが溜まりやすい
- 斜めや水平に生えている
- 歯並びやかみ合わせに影響している



親知らずは最大で上下左右の4本生え、生まれつき1本もない人もいれば、顎の骨の中に埋もれたまま生えてこない人もいます。正常に問題なく生えてくればよいのですが、あごに親知らずが生えるスペースがないため歯の一部しか見えていなかったり、斜めや水平に生えるといった、生え方に問題がある場合があります。



### 「親知らず」の名前の由来

親知らずは、思春期を過ぎて生えてくる一番奥の歯のことで「智歯(ちし)」とも呼ばれます。昔は、この歯が生える頃には親は子供の口の中の状態を知らないから、“親が知らない時期に生えてくる歯(親知らず)”と名づけられたとも言われています。